

CASIO®

P

3266 * JA

取扱説明書

3266

このたびは、弊社製品をお買い上げくださりまして、誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

●ダイビング機能の使い方	19
●タイドグラフ／ムーングラフ	22
●ワールドタイム	32
●アラーム・時報	34
●ストップウォッチ	37
●タイマー	38
●時刻・カレンダーの合わせ方	40

ご使用前に十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。安定してお使いいただくために、本書に従って、光が当たるようにしてお使いください。

(充電時間については、11 ページの「ソーラー充電について」をご参照ください)

安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意) を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止) を意味しています。(左の例は分解禁止)



● 記号は「しなければならないこと」(強制) を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

危険

スクーバダイビング等に使用するときは

必ず安全潜水に関する特別な教育を受けてからご使用ください。

本機は潜水の同伴者(バディ)の代用にはなりません。潜水の際は必ずバディシステムをお守りください。

本機は減圧計算を行う「ダイビングコンピュータ」ではありません。あくまでも補助用としてご使用ください。

飽和潜水などによるヘリウム雰囲気中で、本機を使用しないでください。

警告

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

ダイビングを始める前に

バッテリーインジケータを確認して、電池が十分充電してあることを確認してください。
※なるべくレベル 2 以上でご使用ください。

ダイビング中は、極端にライトを使用しないでください。極端にライトを使用した場合は動作保護のためにライトが点灯せず、音が鳴らなくなります。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。





注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですとおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

安全上のご注意	表紙裏面	タイドグラフ／ムーングラフの見方	22
十分に光を当ててご使用ください	6	調べたい場所のセット	22
操作のしくみと表示の見方	8	タイドグラフを見る	24
操作音について	10	ムーングラフ（月の形）を見る	25
操作音の ON / OFF 設定	10	好きな日の タイドグラフ／ムーングラフを見る	28
ソーラー充電について	11	満潮時刻の補正をする	30
パワーセービング機能について	15	ワールドタイムの使い方	32
ライト点灯について	16	都市のサーチ	32
ボタンを押して点灯させる	16	サマータイム（DST）について	33
時計を傾けて点灯させる	16	サマータイムの ON / OFF 設定	33
ライトの点灯時間の切替え	18	都市コード一覧	33
ダイビング機能の使い方	19	アラーム・時報の使い方	34
表示の見方	19	アラームについて	34
計測単位および計測範囲	19	アラーム時刻のセット	34
計測のしかた	20	アラーム・時報の ON / OFF 設定	36
ログデータを見る	21	鳴っている電子音を止めるには	36
ログデータの消去	21	モニターアラーム	36
		ストップウォッチの使い方	37
		計測のしかた	37

タイマーの使い方 **38**

- タイマーのセット 38
- タイマーの使い方（減算計測のしかた）..... 39
- 鳴っている電子音を止めるには 39

**ホームタイムデータ
(時刻・カレンダー) の合わせ方** **40**

- セットのしかた 40

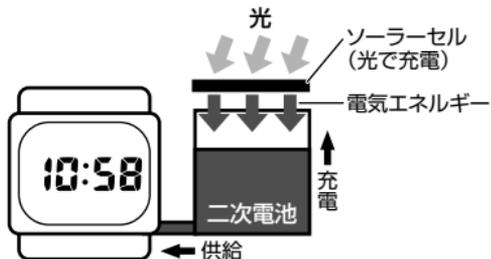
- | |
|---------------------------|
| 製品仕様 44 |
| ご使用上の注意 46 |
| お手入れについて 49 |
| 本製品で使用している電池について 50 |
| 金属バンドの駒詰めについて 50 |

十分に光を当ててご使用ください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定してお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

●光が当たっているときと当たらないとき

〈光が当たっているとき〉



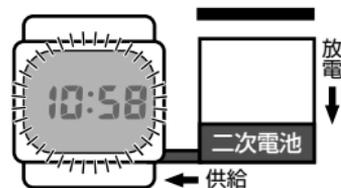
〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは二次電池の容量が減って機能が使えなくなります。

●ライト（表示用照明）をたくさん使うと

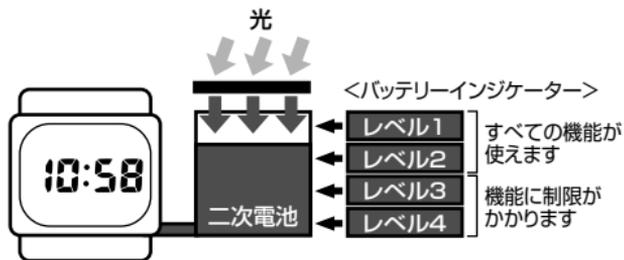
ライトを多用すると二次電池の容量は早く減ります。



オートライト機能を使うと、頻繁にライトが点灯する状態になりますのでご注意ください。

●時計に光が当たるようにしましょう

- 電池容量を示すバッテリーインジケーターがレベル3になると機能に制限がかかりますので、レベル1、レベル2を保つように光を当ててください。

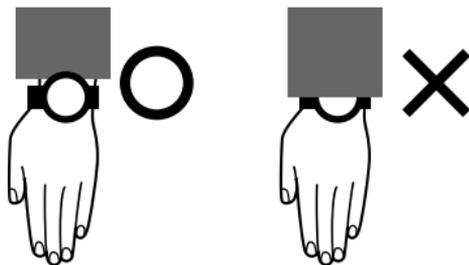


- 腕から外したときは表示面（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



蛍光灯下や窓際などの光が当たる所に置いてください。

- 腕に付けているときはなるべく袖が表示面（ソーラーセル）にかからないように使用してください。



一部でも袖に隠れていると、充電効率が著しく低下します。

操作のしくみと表示の見方

時刻モード

- (A) ボタンを押すとワールドタイムの時刻を表示します。



<ワールドタイムで最後に
見た都市の時刻>



★ホームタイム／ワールドタイム表示 切替え機能について

時刻モードでは通常は、月・日と曜日を
表示しますが、ボタン操作で表示を
切り替えて見るすることができます。

時刻モードで (A) ボタンを押すと、ワ
ールドタイムモードで最後に見た都市の
時刻を表示します。

元に戻すには、再度 (A) ボタンを押しま
す。

ダイビングモード

計測した潜水時間と潜水開始日時
をメモリーします。
ダイビングモードに切り替えるには、
いずれかのモードのときに (C) ボタ
ンを約 1 秒間押し続けます。
なお、ダイビングモードのときに
(C) ボタンを約 1 秒間押し続けると、
時刻モードに戻ります。



P-19

タイマーモード

1 分単位で 24 時間までセットでき、セッ
トした時間を経過すると 10 秒間の電子
音が鳴ります。



P-38

- ◎ ボタンを押すと確認音が鳴り、ログデータリコールモード、タイドグラフ／ムーングラフモード、ワールドタイムモード、アラームモード、ストップウォッチモード、タイマーモードに切り替わります。

ログデータリコールモード

LOG ID — ログ番号

モード名

潜水開始時刻

潜水時間

インターバルタイム

計測した潜水時間と潜水開始日時をメモリーします。

P-21

タイドグラフ／ムーングラフモード

タイドグラフ

ムーングラフ

タイドグラフ：「潮の様子」をグラフで表現します。

ムーングラフ：「月の満ち欠け」をグラフで表現します。

モード名

P-22

ストップウォッチモード

1/100 秒単位で 23 時間 59 分 99 (24 時間計) まで計測できます。

モード名

P-37

アラームモード

アラーム時刻のセットや時報の ON/OFF ができます。

モード名

アラーム番号

P-34

ワールドタイムモード

世界 48 都市 31 タイムゾーンの時刻を知ることができます。

モード名

都市コード

ワールドタイム

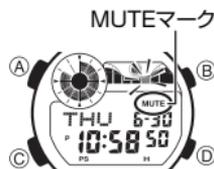
P-32

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音の ON / OFF を切り替えることができます。

※操作音を OFF にしているときは、MUTE マークが点灯します。

※操作音が OFF でも、アラーム・時報などの報音は鳴ります。



■ 操作音の ON / OFF 設定

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

(約2秒間)



都市コード

⇒都市コードが点滅します。

※セット状態で 2～3 分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 「操作音設定」にする

Ⓒ ボタンを 9 回押します

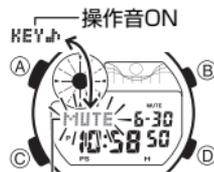
⇒“MUTE” または “KEY ♪” が点滅します。



3. ON / OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

⇒Ⓓ ボタンを押すごとに操作音の ON / OFF が切り替わります。



操作音 OFF

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

ソーラー充電について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。

光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。

安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

● バッテリーインジケーター (HIGH (H)、MID (M)、LOW (L)) が点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、バッテリーインジケーターが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

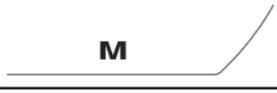
- ライトの点灯
- アラーム・時報などの報音
- ダイビングモード切替え

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



バッテリーインジケーター

● バッテリーインジケータの見方

レベル 1		すべての機能が使用可能
レベル 2		すべての機能が使用可能
レベル 3		ダイビングモード切替え、 ライト点灯不可、 アラーム・時報などの 報音不可
レベル 4	 ※チャージインジケータが 点滅	液晶表示不可、 ダイビングモード切替え、 ライト点灯不可、 アラーム・時報などの 報音不可
レベル 5		時計機能停止 (時計発振不可)

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケータが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

※レベル5になっても再度充電することで使用できます。

※レベル5から充電したときは、レベル4になると表示が点灯し、チャージインジケータが点滅します。ただし、この状態では機能が使用できませんので、レベル2またはレベル1になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

※レベル5になるとホームタイム都市がリセットされTYOに戻ります。TYO以外のホームタイム都市を設定していた場合は再度、設定し直してください。

●充電必要サイン

レベル3、レベル4の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電してください。

また、頻繁にバッテリーインジケーターが点滅する場合も電池残量が少なくなっていますので光を当てて充電してください。

●充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
 - 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
 - 直射日光が長く当たって、高温になる所
- なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

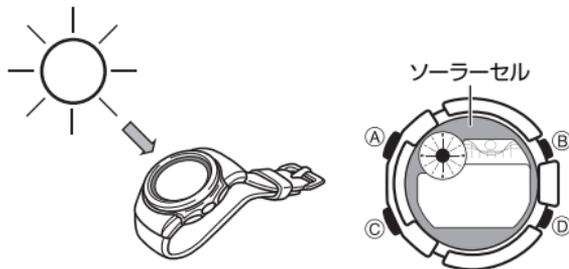


充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。

※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますので、ご注意ください。



※イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

●1日、安定した状態で時計を使用するために必要な充電時間

※下記の条件で使用した場合

- ライト：1.5 秒間／日
- アラーム報音：10 秒間／日
- 表示点灯：18 時間／日

※こまめに充電すれば、安定した状態でご使用いただけます。

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など (50,000 ルクス)	約 5 分
晴れた日の窓際など (10,000 ルクス)	約 24 分
曇りの日の窓際など (5,000 ルクス)	約 48 分
蛍光灯下の室内など (500 ルクス)	約 8 時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間			
	レベル 5 → レベル 4	レベル 3	レベル 2	レベル 1
晴れた日の屋外など (50,000 ルクス)	約 2 時間		約 21 時間	約 6 時間
晴れた日の窓際など (10,000 ルクス)	約 8 時間		約 106 時間	約 29 時間
曇り日の窓際など (5,000 ルクス)	約 16 時間		約 215 時間	約 58 時間
蛍光灯下の室内など (500 ルクス)	約 189 時間		---	---

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」を ON に設定してあります。

※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

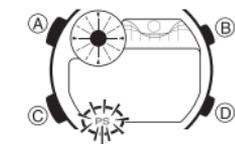
●スリープ状態になるには

●表示スリープ

午後 10 時～午前 6 時の間、暗いところで本機を約 1 時間放置します。

※ダイビングモード、タイマーモード、ストップウォッチモードのときは、スリープ状態になりません。

⇒液晶表示が消え、パワーセービングマークが点滅します。
アラーム・時報などの報音は鳴ります。



パワーセービングマーク

●機能スリープ

表示スリープのまま暗いところで 6～7 日間放置します。

⇒パワーセービングマークが点滅から点灯にか変わります。
アラーム・時報などの報音も鳴りません。

※時計機能は正常に作動しています。

●スリープ状態を解除するには

- 本機を明るいところに置く
- 本機のいずれかのボタンを押す
- 本機をオートライト機能が動作する角度まで傾ける(17 ページ)

※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大 2 秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能の ON / OFF

パワーセービング機能を働かせなくするには 40 ページをご覧ください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能を ON にしておけば、節電効果があります。

ライト点灯について

暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押してライトを点灯させることができます。また、時計を傾けると自動的にライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して点灯させる

～手動点灯～

どのモードのときでも、

② ボタンを押します

→ ② ボタンを押すとライトが点灯します。

※ 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます (18 ページ参照)。

※ダイビングモードでは、約 3 秒間だけが点灯時間となります。

※オートライト OFF のときも ② ボタンを押すと点灯します。



本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ (金属球) が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて点灯させる

～オートライト機能～

どのモードのときでも、時計を傾げるだけでライトが約 1.5 秒間 (約 3 秒間) 点灯します。

※明るいときは、自動点灯しません。

準備: 時刻モード (セット中以外) のとき、② ボタンを約 3 秒間押し続けて、オートライト ON (マーク点灯) にします。



※オートライト ON のとき、② ボタンを約 3 秒間押し続けるとオートライト OFF (マーク消灯) に戻ります。

●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると表示しにくくなります。



〈ライト点灯についてのご注意〉

- 直射日光下では点灯が見えにくくなります。
- 点灯中にアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- 点灯中に時計本体から音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
 - 時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
 - 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
 - ライト点灯後、時計を傾けたままにしていても、点灯は約1.5秒間（約3秒間）のみとなります。
 - バッテリーインジケーターがレベル4になると、自動的にオートライトOFFになります。
 - 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。
- ※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。
 - ダイビング中など姿勢によってはオートライトが作動しにくい場合があります。

■ ライトの点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

① ボタンを約2秒間押し続けます

⇒都市コードが点滅します。

※セット状態で2～3分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 「ライトの点灯時間設定」にする

② ボタンを10回押します

⇒“LT1”（1が点滅）または“LT3”（3が点滅）が表示されます。



3. 点灯時間を切り替える

③ ボタンを押します

⇒③ ボタンを押すごとにライトの点灯時間が切り替わります。

4. セットを終わる

④ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。



ダイビング機能の使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し続け、ダイビングモードにします。

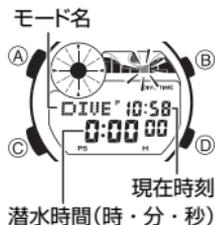
ダイビング機能は計測した潜水時間と潜水開始月日および時刻をメモリーします。最大 10 本のログデータ（潜水時間・潜水開始月日および時刻・ログ番号）をメモリーすることができます。ログデータは、ログデータリコールモードで見ることができます（21 ページ参照）。

また、潜水時間の計測を終了すると、自動的にインターバルタイム（水面休息时间）の計測を行います。

※ダイビングモードに入ってから 11 ～ 12 時間経過すると、自動的に時刻モードに入ります。

■ 表示の見方

<リセット表示>



<計測表示>



● グラフ表示

1 秒ごとに点滅し、1 分ごとに点灯します。

■ 計測単位および計測範囲

● 潜水時間

計測単位 = 1 秒

計測範囲 = 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間)

● インターバルタイム

計測単位 = 1 分

計測範囲 = 47 時間 59 分 (48 時間)

※ 48 時間以降は表示しません。

<インターバルタイムについて>

インターバルタイムは、潜水時間の計測をストップさせてから次の潜水時間の計測をスタートするまでの経過時間です。

※インターバルタイムは、ログデータリコールモードの最新ログデータ画面で表示されます。

潜水を開始する前は、本機を光に当てて、十分に充電してください。

計測のしかた



●スタート

① ボタンを押すと、潜水時間計測がスタートします。

●ストップ

潜水時間計測中に ① ボタンを約 1 秒間押し続けると、ストップします。

●リセット

潜水時間計測がストップ中に ② ボタンを押すと、リセット表示に戻ります。

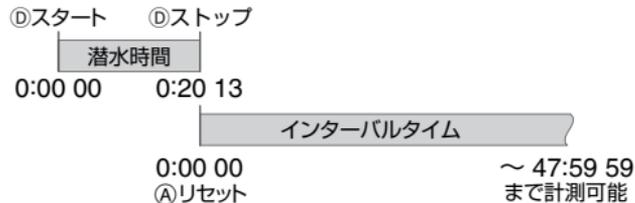
※計測ストップ中に ③ ボタンを約 1 秒間押し続けて時刻モードに戻ったときもリセットされます。

※リセットすると、ログデータがメモリーされます。

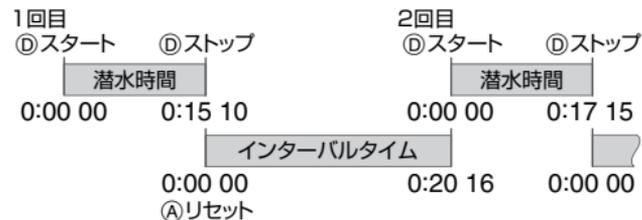
※ログデータは最大 10 本メモリーされます。リセットすでに 10 本メモリーがある場合、古いログデータを自動的に消去して、最新ログデータをメモリーします。

計測例)

●潜水を 1 回で終了する場合



●休憩後、もう 1 回潜水する場合



■ご注意

- 連続してダイビングモードで再スタートさせた場合、2 回目の潜水時間は前回からの続きとなります。
- 計測中ストップせずに時刻モードに戻っても、内部では潜水時間の計測は続いています。このとき、潜水時間、潜水開始月日および時刻データはまだメモリーされていません。
- ※このとき、最新のログデータにインターバルタイムは表示されません。

■ ログデータを見る

1. ログデータリコールモードに切り替える

時刻モードのとき、

◎ ボタンを押します

⇒ ログデータリコールモードに切り替わり、最新のログデータを表示します。

※ 最新のログデータにだけ、インターバルタイムを表示します。

※ ログデータが何も無い場合、“-:--”表示になります。

<最新のデータ>

LOG ID — ログ番号



ログ番号 — 9



2. 他のログデータを見る

◎ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに最新のデータから1回前、2回前、3回前・・・とさかのぼって見ることができます。

※ 古いログデータになるごとに、ログ番号は小さい番号になります。

※ ログデータリコールモードで1～2時間何も操作をしないと、自動的に時刻モードに戻ります。

■ ログデータの消去

すべてのログデータを消去します。ログデータを個別に消去することはできません。

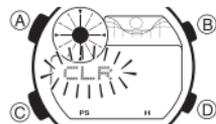
ログデータリコールモードのとき、

◎ ボタンを約3秒間押し続けます

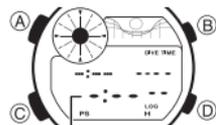
⇒ ④ ボタンを押すと“CLR”が点滅し始めますので“-:--”表示になるまでそのまま④ ボタンを押し続けます。

⇒ “-:--”表示になるとログデータの消去が完了です。

※ ダイビング計測中はログデータを消去できません。



④ を約3秒間押し続ける



“-:--”表示

タイドグラフ／ムーングラフの見方

本機のタイドグラフ／ムーングラフは、時刻モードの「ホームタイム都市」に設定されている場所（都市）での値を表示します。ご使用になる前に、あらかじめ調べたい場所を時刻モードの「ホームタイム都市」に設定してください。

なお、タイドグラフ／ムーングラフを見るために時刻モードの「ホームタイム都市」を変更した場合、タイドグラフ／ムーングラフの確認後には忘れずに時刻モードの「ホームタイム都市」を元の場所（都市）に戻してください。

※タイドグラフの計算には約2秒かかります。モードを切り替えた直後などのタイドグラフ計算中は、セット状態にすることができません。

※月齢について

本機の月齢の計算精度は±1日です。

※タイドグラフ／ムーングラフモードで2～3分間何も操作をしないと、自動的に時刻モードに戻ります。

■ 調べたい場所のセット

調べたい場所のセットは時刻モードで行います。すでに、調べたい場所が時刻モードの「ホームタイム都市」に設定されている場合は、この操作は必要ありません。8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがいCボタンを押し、時刻モードにします。

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

A ボタンを約2秒間押し続けます

⇒「都市コード」が点滅します。

※セット状態で2～3分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

(約2秒間)



都市コード

2. 都市コードを選ぶ

① または ② ボタンを押します

⇒ ① ボタンまたは ② ボタンを押して、セットしたい都市コードを選びます。

※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※ 時差に連動して、時刻が切り替わります。

* ホームタイム都市をセットするときは 33 ページの「都市コード一覧」を参照してください。



3. セットを終わる

③ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

■ タイドグラフを見る

● 現在のタイドグラフを見る

時刻モードやタイドグラフ／ムーングラフモード、ダイビングモードで表示されます。

※セット中は除きます。

※グラフが表示されるまで約2秒かかります。

※ダイビングモードにいる間に日付が変わった場合、タイドグラフ計算は行いません。

※本機のタイドグラフ表示は下図のように時刻に対する潮の変動を表します。

<例：時刻モード>



■ ご注意

本機で表示される情報は、航海の用に供するものではありません。航海には必ず海上保安庁刊行の潮汐表を使用してください。本機のタイドグラフ表示は、あくまで潮の満ち干きの様子を見る目安としてお使いください。

● タイドグラフについて

● 潮の状態（干満）：6段階表示
現在の潮の状態を点滅で表します。

例：大潮の干潮時付近



● 潮回り（3つのパターン）



■ ムーングラフ（月の形）を見る

●現在のムーングラフを見る

時刻モードやタイドグラフ／ムーングラフモード、ダイビングモードで表示されます。

※セット中は除きます。

※グラフが表示されるまで約2秒かかります。

※ダイビングモードにいる間に日付が変わった場合、ムーングラフ計算は行いません。

ムーングラフが示す月の形は、黒く点灯している部分が「月の影」で、点灯していない部分が「月の形=見える形」です。



<例：時刻モード>

ムーングラフ(月の形)



●月の形と月齢

月の形	新月				上弦			
月 齢	28.7～29.8 0.0～0.9	1.0～2.7	2.8～4.6	4.7～6.4	6.5～8.3	8.4～10.1	10.2～12.0	12.1～13.8
表示								
月の形	満月				下弦			
月 齢	13.9～15.7	15.8～17.5	17.6～19.4	19.5～21.2	21.3～23.1	23.2～24.9	25.0～26.8	26.9～28.6
表示								

- 月の形は表示日の「正午」における、おおよその形です。なお、月の左右どちらかが欠けているかのみを表現するものであり、実際に見える月の形とは異なります。
- 上の表の「月の形」は、北半球を基準として月を南向きに見上げたときのものです。南半球や赤道付近で北寄りに月が見えるときは左右逆に見えます。
なお、本機では、「北半球（南方向に月が見える）での月の形」を表示するか、「南半球（北方向に月が見える）での月の形」を表示するかを選ぶことができます（27 ページ参照）。
- 月の形は、時刻・カレンダーおよび使用場所（ホームタイム都市）を正しくセットしておかないと正しく表示されませんのでご注意ください。

●「北半球での月の形」を表示するか、「南半球での月の形」を表示するかを選ぶ

「北半球（南方向に月が見える）での月の形」を表示するか、「南半球（北方向に月が見える）での月の形」を表示するかを選ぶことができます。

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい ③ ボタンを押し、タイドグラフ/ムーングラフモードにします。

1. セット状態にする

① ボタンを約 2 秒間押し続けます

⇒「タイドグラフの満潮時刻の時」が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

(約2秒間)

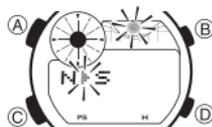


タイドグラフの満潮時刻の時

2. 「月が見える方向をセットする状態」にする

③ ボタンを 2 回押します

⇒月が見える方向をあらわす「☾」が点滅します。



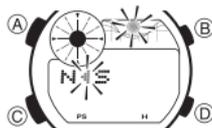
3. 月が見える方向をセットする

④ ボタンを押します

⇒④ ボタンを押すごとに、月が見える方向を表わす「☾」の向きが切り替わります。

N → S : 南方向に月が見える

N ← S : 北方向に月が見える



4. セットを終わる

① ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

■好きな日のタイドグラフ／ムーングラフを見る

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい◎ボタンを押して、タイドグラフ／ムーングラフモードにします。

タイドグラフ／ムーングラフモードに切り替えると、タイドサーチとなります。

※◎ボタンを押すごとにタイドサーチとムーンサーチが切り替わります。

※タイドサーチに切り替えたときは、「午前6時」の状態を表示します。

※タイドグラフ／ムーングラフの日にちは、ムーンサーチで選びます。

※タイドグラフの時刻は、タイドサーチで選びます。



●日にちを選んでタイドグラフ／ムーングラフを見る

1. ムーンサーチにします。タイドサーチのときは

◎ボタンを押します

2. 日にちを選ぶ

◎ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに1日ずつ進みます。

⇒日にちを選んだ約2秒後、ムーングラフが表示されます。



※押し続けると早送りができます。

※「日にち」は2000年1月1日～2099年12月31日の範囲内でセットできます。

※◎ボタンを押したとき、計算中は「年」も表示されます。

●時刻を選んでタイドグラフを見る

1. タイドサーチにします。ムーンサーチのときは

Ⓐ ボタンを押します

2. 時刻を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに1時間ずつ進みます。

⇒ 潮の状態（干潮）にあわせてタイドグラフの点滅箇所が変わります。ムーングラフは、常に「日にちを選んでタイドグラフ／ムーングラフを見る」で選んだ日付の正午におけるおおよその形になります。

※ 押し続けると早送りができます。

※ ボタンを押し続けても翌日には進みません。



■ 満潮時刻の補正をする

本機の工場出荷時の満潮時刻は、東京（芝浦）での経度と月潮間隔で計算しています。調べたい場所や季節の違いにより満潮時刻は異なりますので、より正しく使うためには、調べたい場所の近くの満潮時刻を入力する必要があります。

潮時表、インターネット、新聞などを参考に、満潮時刻を補正してご使用ください。

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい © ボタンを押し、タイドグラフ／ムーングラフモードにします。

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

⇒「タイドグラフの満潮時刻の時」が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

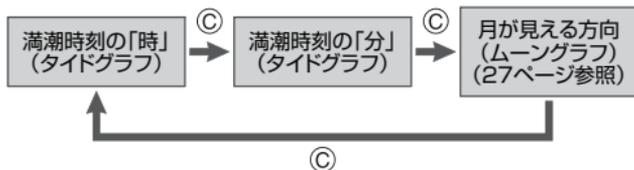


2. セット箇所を選ぶ

© ボタンを押します

⇒ © ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。

満潮時刻の「時」または「分」を点滅させます。



3. セットする

④ または ③ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに1つずつ進み、③ ボタンを押すごとに戻ります。



- ※ ④・③ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- ※ 満潮時刻を「初期値（工場出荷時の時刻）」に戻したいときは、③ ボタンと ④ ボタンを同時に押します。
- ※ 一日に2回の満潮がある場合は、最初の満潮時刻にあわせてください(2回目を入力した場合は自動的に計算されます)。
- ※ 時刻モードでサマータイムをONにしても、ここで設定した満潮時刻は変わりません。

③ ボタンでセットしたい箇所を点滅させ、④ または ③ ボタンで満潮時刻の「時」および「分」をセットします。

4. セット状態を解除する

① ボタンを押します

ワールドタイムの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 48 都市 (31 タイムゾーン) の時刻を知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※ホームタイム (基本時刻) を 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

■ご注意■

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

* セットについては 40 ページ参照。

■都市のサーチ

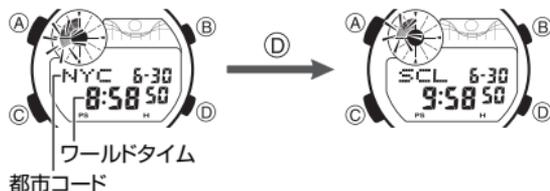
ワールドタイムモードのとき、

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。

※ 押し続けると早送りします。

※ 都市コードを UTC (時差 0) にしたいときは、◎ ボタンと ◎ ボタンを同時に押します。



■ サマータイム (DST) について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムの ON / OFF 設定

準備：ワールドタイムモードのとき、**④** ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

④ ボタンを約 2 秒間押し続けます

(約2秒間)



DSTマーク

→ **④** ボタンを約 2 秒間押し続けるごとにサマータイムの ON / OFF が切り替わります。

- ※ サマータイムが ON のときは、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。
- ※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、“UTC” 表示のときはサマータイムの設定はできません。
- ※ ホームタイムで設定している都市をサマータイム ON にしたときは、ホームタイム (基本時刻) もサマータイム ON になります。

■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
UTC	0	〈協定世界時〉	TPE	+8	台北
LIS	0	リスボン	SEL	+9	ソウル
LON	0	ロンドン	TYO	+9	東京
MAD	+1	マドリード	ADL	+9.5	アデレード
PAR	+1	パリ	GUM	+10	グアム
ROM	+1	ローマ	SYD	+10	シドニー
BER	+1	ベルリン	NOU	+11	ヌーメア
STO	+1	ストックホルム	WLG	+12	ウェリントン
ATH	+2	アテネ	PPG	-11	パゴパゴ
CAI	+2	カイロ	HNL	-10	ホノルル
JRS	+2	エルサレム	ANC	-9	アンカレジ
MOW	+3	モスクワ	YVR	-8	バンクーバー
JED	+3	ジェッダ	LAX	-8	ロサンゼルス
THR	+3.5	テヘラン	YEA	-7	エドモントン
DXB	+4	ドバイ	DEN	-7	デンバー
KBL	+4.5	カブール	MEX	-6	メキシコシティ
KHI	+5	カラチ	CHI	-6	シカゴ
DEL	+5.5	デリー	NYC	-5	ニューヨーク
KTM	+5.75	カトマンズ	SCL	-4	サンティアゴ
DAC	+6	ダッカ	YHZ	-4	ハリファックス
RGN	+6.5	ヤンゴン	YYT	-3.5	セントジョンズ
BKK	+7	バンコク	RIO	-3	リオデジャネイロ
SIN	+8	シンガポール	FEN	-2	フェルナンド・デ・ノロニャ
HKG	+8	香港	RAI	-1	プライア
BJS	+8	北京			

※この表は 2009 年 12 月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。

※各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

アラーム・時報の使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、アラームモードにします。

※アラームモードで2～3分間何も操作をしないと、自動的に時刻モードに戻ります。

■ アラームについて

● 通常アラーム (AL1～AL4)

設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴ります。

● スヌーズアラーム (SNZ)

設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。

なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

● 時報 (SIG)

毎正時(00分)に時報を鳴らすことができます。

■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

◎ ボタンを押します

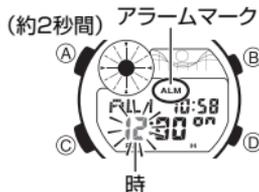
⇒ ◎ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。

※アラームモードに切り替えた直後は、前回このモードで最後に表示していたアラームを表示します。



2. セット状態にする

① ボタンを約2秒間押し続けます



⇒「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームがONになります。

※ セット状態で2～3分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。

3. 「時」をセットする

② または ③ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑤ ボタンを押すごとに戻ります。



※ ④・⑤ ボタンとも押し続けると早送りします。

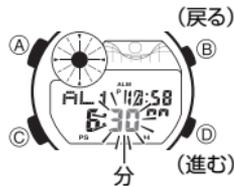
※ 「時」のセットのとき午前/午後(P)または24時間制にご注意ください。

※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

4. 「分」をセットする

③ ボタンを押します

⇒「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に ④ または ⑤ ボタンでセットします。



5. セットを終わる

④ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

■ アラーム・時報の ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、**①** ボタンを押して、鳴らしたいアラームを選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

① ボタンを押します

⇒ **①** ボタンを押すごとにアラームまたは時報の ON ("on" 表示) と OFF ("—" 表示) が切り替わります。

※ それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。

<アラーム1表示>

アラームマーク



<時報表示>

時報マーク



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、**①** ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ストップウォッチの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

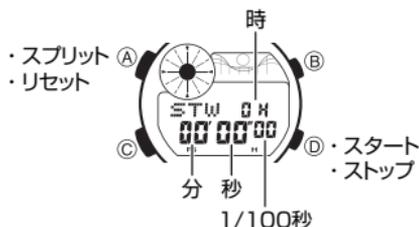
ストップウォッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。



● 計測中に (A) ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける「スプリット計測」となります ("SPL" 表示)。

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

● 計測ストップ時に (A) ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

● 通常計測



積算計測…ストップ後リセットせずに (D) ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測



<スプリット計測中>



● 1・2 着同時計測



タイマーの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは 1 分単位で 24 時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると 10 秒間の電子音が鳴ります。

■ タイマーのセット

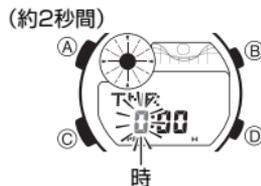
1. セット状態にする

タイマーモード（リセット状態）のとき、

◎ ボタンを約 2 秒間押し続けます

⇒ 「時」が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作をしないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 「時」をセットする

◎ または ◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

※ ◎・◎ ボタンとも押し続けると早送りします。

※ 「24 時間」をセットする場合は、「0:00」とセットしてください。



3. 「分」をセットする

◎ ボタンを押します

⇒「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様に ④
または ② ボタンでセット
します。



4. セットを終わる

◎ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、

◎ ボタンを押します

⇒ ④ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

※ 1 秒単位で計測します。



- 計測ストップ時に ① ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
- ロスタイムがあるときは、④ ボタンでストップ後、もう一度 ④ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ホームタイムデータ（時刻・カレンダー）の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。

※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行います。

※パワーセービング機能の ON / OFF 設定も以下の操作で行います。

■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

**Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し
続けます**

→ 都市コードが点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間
何も操作をしないと、自
動的にセット状態が解除
されます。

(約2秒間)



2. ホームタイム都市を選ぶ

**Ⓓ または Ⓑ ボタンを押し
ます**

→ Ⓓ ボタンを押すごとに都
市コードが進み、Ⓑ ボタ
ンを押すごとに戻ります。
本機をお使いになる地域
(都市) を選びます。

* 33 ページ「都市コード一覧」参照。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



3. 「サマータイム設定」にする

Ⓒ ボタンを押します

→ サマータイムの切り替えに
なります。



4. サマータイムを切り替える

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



●OFF

サマータイムは OFF になります (通常時間)。

●ON

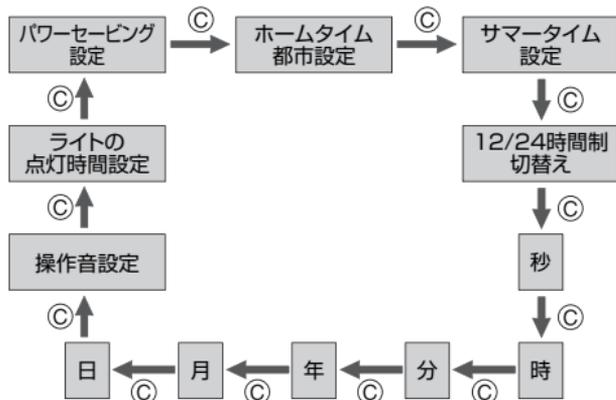
サマータイムは ON になります (夏時間)。

※セット完了後、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

5. セット箇所を選ぶ

② ボタンを押します

→ ② ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



6. 点滅箇所のセット

③ または ④ ボタンを押します

→ ③ または ④ ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「12/24 時間制切替え」のとき

① ボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。



12/24時間制

b.「秒」セットのとき

① ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



00秒になる

c.「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

① ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

※①・② ボタンとも、押し続けると早送りができます。



d.「操作音設定」のとき

① ボタンを押すごとに、モード切替え時などに鳴る操作音のON / OFFが切り替わります。



操作音OFF

e.「ライトの点灯時間設定」のとき

① ボタンを押すごとにライトの点灯時間が切り替わります。



f. 「パワーセービング設定」 のとき

① ボタンを押すごとにパワーセービング機能の ON / OFF が切り替わります。

※パワーセービング機能を “On” にすると、パワーセービングマークが点滅します。



② ボタンを押して点滅箇所を移動させ、③ または
④ ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は 2000 年～2099 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

7. セットを終わる

⑤ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差±15秒以内

基本機能：時・分・秒、
午前／午後 (P) / 24 時間制表示
曜日・月・日、フルオートカレンダー
(2000～2099 年)
ホームタイム／ワールドタイム表示切替え
機能

ダイビング機能：潜水時間
計測単位=1 秒
計測範囲=23 時間 59 分 59 秒(24 時間)
インターバルタイム
計測単位=1 分
計測範囲=47 時間 59 分 (48 時間)
ログメモリー=10 本
(潜水開始月日および時刻、潜水時間、
インターバルタイム)

タイドグラフ / : タイドグラフ表示 (潮回り表示付き)
ムーングラフ機能
月の形表示
日付選択機能
時刻選択機能 (タイドグラフのみ)

ワールドタイム機能：世界 48 都市 (31 タイムゾーン) の時刻を
表示、サマータイム設定機能

アラーム機能：時刻アラーム
アラーム数=5 本 (内スヌーズ 1 本)
セット単位=時・分
電子音=10 秒間
時報 毎正時に 2 回電子音で報知

ストップウォッチ機能：計測単位=1/100 秒
計測範囲=23 時間 59 分 59 秒 99
(24 時間計)
計測機能=通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測

タイマー機能：セット単位=1 分
計測範囲=24 時間
計測単位=1 秒
タイムアップを 10 秒間の電子音で報知

その他：自動復帰機能、12/24 時間制表示切替え、
EL (エレクトロルミネッセンス) バックラ
イト、フルオートライト、モニターアラーム、
パワーセービング機能、バッテリーインジ
ケーター、操作音 ON/OFF 設定

主 要 回 路 素 子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップ CMOS-LSI

使 用 電 池：二次電池

持 続 時 間：約 10 ヲ月

（ライト 1.5 秒間／日、電子音 10 秒間／日、
表示点灯 18 時間／日、ダイビング機能
・ダイビング回数：50 回／年
・ダイビング時間：60 分／回

※ライトを頻繁に使用すると、電池の持続
時間が短くなります。

ご使用上の注意

■ 防水性

- 水深200m(20気圧)相当の圧力に耐えます。スキンドайビング、スクーバダイビング等にご使用になれます。
- 水中でのボタン操作を行っても本機の性能に支障はありません。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために、必ず定期的(2年に1回)なパッキン交換を行ってください。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。

■ 潜水前のご注意

- バッテリーレベルメーターを確認して、電池が十分充電してあることを確認してください。
 - ・なるべくレベル2以上でご使用ください。
- ダイビング中は、極端にライトを使用しないでください。極端にライトを使用した場合は動作保護のためにライトが点灯せず、音が鳴らなくなります。
- 時刻が正確にセットされているかを確認してください。
- ガラスやケース、バンドなどにヒビや破損などの異常がないか、また、バンドが確実に固定されているかを確認してください。

■ 潜水中のご注意

- 岩などにぶつけないようにご注意ください。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノリペアセンターにバンド交換(有償)をお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/Baby-G/G-ms)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含むクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとし色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノリペアセンターにお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび(錆)が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

■ データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノロジーセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気が多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーセルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノお客様修理相談センターにご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノお客様修理相談センターへお問い合わせください。